

「第5回 阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会（県北方部）」開催

1. 概要

- 阿武隈川上流では、近年の雨の局地化・激甚化を踏まえ、今後発生しうる大規模な浸水被害に備えるため、沿川市町村・県・国による『減災対策協議会』を平成28年4月から設置しております。
- 今回の協議会では、地域性や出水に至る過程・被害形態の違いから、**試行で県北方部と県中方部に分割して開催**しました。
- 平成30年7月豪雨（西日本豪雨）を受け**、防災・減災・国土強靱化のための3ヶ年緊急対策を盛り込んだ取組方針の改定、**市町村長等による意見交換**を行いました。

2. 日時／実施状況

- 日 時：令和元年6月27日（木）
- 場 所：福島テルサ 3階大会議室あぶくま
- 出席者：約30名が参加

議事内容

- ・幹事会の報告、規約の改定
- ・取組方針の改定
- ・意見交換

3. 協議会での発言内容（一部抜粋）

【福島市長】

- ・想定最大規模対応の洪水ハザードマップを作成し『**防災タウンページ**』として市内全戸配布や支所等への**掲示**を実施したほか、説明会も開催した。今後は内水についてのハザードマップも作成していきたい。
- ・昨年は避難準備情報を市内全域に出していたが、**今後は浸水想定区域を対象に避難情報等を出す**ようにしていきたい。

【大玉村長】

- ・安達太良川・百日川・杉田川からの越水による住宅地や農地への浸水が心配。
- ・**ゲリラ豪雨による洪水もしくは土砂災害を想定した防災訓練を実施**する。高齢者をはじめとした社会的弱者をどのようにして避難していくかということも考え、本番さながらの訓練を行う。

【本宮副市長】

- ・阿武隈川・安達太良川の洪水ハザードマップ、ため池ハザードマップ、土砂災害危険箇所、安達太良山火山防災マップを一枚にまとめた防災マップを作成し、今年度内に全戸配布する予定。
- ・**詳細版タイムラインについても今年度より検討に着手**する。

各関係機関の説明状況（一部抜粋）



福島市
(木幡 浩 市長)



大玉村
(押山 利一 村長)



本宮市
(渡辺 正博 副市長)



福島河川国道事務所長
あいさつの様子



協議会の様子(全体風景)